



営農ウィークリーNEWS

京都茄子・京おくらのPR活動



10月1日、経済部営農販売課では、全農京都府本部と協力し、京都市西京区にあるファミリーマート洛西新林本通店の駐車場の特設ブースで、府内や地域特産物の販売促進活動を行いました。ファミリーマート洛西新林本通店は、Aコープ跡地に新たにグランドオープンしたもので、地域特産物の魅力を発信する目的で行いました。

特設ブースでは、管内の地域特産物である「京都茄子」と「京おくら」の販売を行ったほか、全農京都府本部が運営する「丹後やさい館・きちちゃりーな」より、



丹後地域の「梨」、「シャインマスカット」、新米の「丹後コシヒカリ」が販売され、人気を集めました。来場された皆さんからは、新鮮な農産物が購入できてよかった。今後も開催して欲しいなど話されていました。



当日、準備した農産物については、全て完売しました。

—TAC information—

水稲用一発型肥料実証試験・収穫調査



10月3日、営農販売課とJA全農西日本営農資材事業所、JA全農京都では、システムメーカーと開発中の水稲一発型肥料の実証試験における収穫調査を行いました。当日は、向島支店管内の実証圃で収穫期を迎えた「ヒノヒカリ」の刈取を行いました。今後、高温耐性品種の「にこまる」も収穫期に刈取り、乾燥調製後、籾数や品質状況など分析することとしています。



竹の害虫・「シナチクノメイガ」と同定！

2024年7月「京たけのこ」栽培ほ場で葉の食害が多く発生していた被害は、「シナチクノメイガ」と農林水産省神戸植物防疫所により同定され、京都府病害虫防除所より、10月1日、「発生予察特殊報」が発表されました。

管内の被害は、京都市西京区から向日市、長岡京市、大山崎町など西山一体の栽培ほ場で発生しており、甚大なものから、軽微なものまで地域差はあるものの全域で被害が確認されていました。

2024年9月5日には、林野庁、農林水産省が被害調査に訪問され、今後の対策などを近畿農政局、京都府、京都府病害虫防除所、京都乙訓農業改良普及センター、京都市、向日市、長岡京市、大山崎町、JA関係者で協議を行って参りました。

「シナチクノメイガ」は、近年侵入が確認された外来種であり、令和2年に愛知県で初めて発生が確認され、その後、静岡県、山梨県、神奈川県、東京都、千葉県、栃木県、兵庫県及び大阪府で発生が確認されています。

今後、来春の「京たけのこ」への影響など、関係機関等で対策を検討しております。

特殊報

関係各位

6病第30号

令和6年10月1日

京都府病害虫防除所長
(公印省略)

病害虫発生予察情報について

下記のとおり発表しましたので、送付します。

発生予察特殊報第5号

病虫害名 シナチクノメイガ
Eumorphobotys eumorphalis (Caradja)
作物名 タケ類
発生地 京都市南部(京都市、長岡京市)

1 発生経過

- 令和6年7月、京都市及び長岡京市のタケにおいて、葉の褐変及び葉枯れ症状が見られた。葉を確認すると、チョウ目の幼虫や蛹が確認された。採集した幼虫及び蛹を農林水産省神戸植物防疫所に同定依頼したところ、シナチクノメイガと同定された。
- 本種は、近年侵入が確認された外来種であり、令和2年に愛知県で初めて発生が確認された。その後、静岡県、山梨県、神奈川県、東京都、千葉県、栃木県、兵庫県及び大阪府で発生が確認されている。

2 形態及び生態

- 本種はチョウ目ツトガ科に属し、成虫は開長30~40mmで、触角は糸状。前翅前縁の先端部はゆるく曲がり、雌雄で色が異なる。本種は我が国のノメイガ類の中では大型であり、前翅に模様や斑紋がない。
- 雄の前翅は灰褐色で、縁毛は基部が灰褐色となる黄色であるが先端部(a)と後縁部(b)は暗色。後翅は灰褐色で縁毛は前翅同様、基部が灰褐色の黄色(前翅後翅共にまれに黄褐色のものもいる)(写真1)。
- 雌の前翅は黄褐色で末端付近が幾分ピンクになる(c)。縁毛は雄と同様で、基部が灰褐色の黄色で、先端部(c)と後縁部(d)は暗色。後翅は通常灰褐色で、中央部(f)が淡色となる(写真2)。
- 幼虫は、終齢で体長約30mm程度。体色は淡緑色~淡赤白色(写真3)。
- 幼虫は葉を綴じ合わせてその中で蛹化し(写真4)、のちに成虫となる。

3 被害の特徴

主な寄主はタケ類で、幼虫が葉を加害し、加害された葉は褐変する(写真5)。多発すると、緑葉がなくなる(写真6)。

4 防除対策

- 令和6年10月1日現在、たけのこ(野菜類)において本種に適用のある農業はない。
- ほ場内をよく見回り、本虫や綴じ合わされた葉等を見つけたら、可能な限り除去する。
- 本種の発生が見られた場合は、最寄りの農業改良普及センター又は病害虫防除所に相談する。



写真1 雄成虫

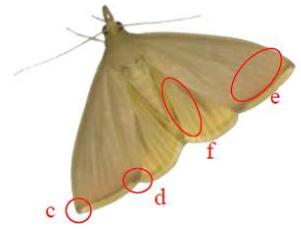


写真2 雌成虫



写真3 幼虫



写真4 蛹



写真5 被害葉



写真6 多発した竹林

注) 写真1, 3, 4は京都市南部農業振興センター 洛西分室提供

<参考文献>

- 岩下幸平他(2022)中国南部からの外来種と考えられるノメイガ *Eumorphobotys eumorphalis* (Caradja, 1925)の日本からの初記録。蛾類通信 300:683-684。
- 藤井才暉(2023)外来種シナチクノメイガの茨城県での観察記録。りぼし 53:172-173。
- 坂上洗多(2024)ハチ北高原から得られた蛾類3種の採集例。きべりはむし 47(1): 68-69。
- 横田光邦(2023)生田緑地におけるシナチクノメイガ *Eumorphobotys eumorphalis* (Caradja, 1925)の記録。川崎市青少年科学館紀要 33:26-27。